



シーサイドニュース

Medical Corporation WADOKAI
Hiroshima Seaside Hospital

2022年
秋号
vol.98

シーサイド病院より 病院長 多田 恵一

9月27日、日本武道館にて、7月に亡くなられた安倍元総理大臣の国葬が行われました。1967年の吉田茂氏以来55年ぶりの国葬で、葬儀委員長を務める岸田総理大臣ら三権の長ほか多くの関係者が参加されました。皇族方も秋篠宮ご夫妻はじめ7名が参加され、海外からも米国のハリス副大統領、インドのモディ首相、オーストラリアのアルバニー首相、英国のメイ元首相、フランスのサルコジ元大統領など多くの要人も出席されました。安倍晋三元総理大臣のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

発生より間もなく3年目を迎える世界規模の新型コロナパンデミック。当院においても、2020年末のワンチームで乗り越えたクラスター経験を活かし、入院入所者やご家族のご理解も得、現在に至るまで、安定した感染管理を心がけています。しかし、全国では現在コロナは再び急速に増加しており、新たな亜種による第8波に入ったと報じられています。医療体制の維持とともに一層のワクチン接種の普及などにより、経済活動を中心に国内外との物流や人流の活発化が進み、この波を乗り越えて、収束がさらに現実のものになるよう大いに期待しているところです。

そして、既に10か月目を迎えたロシアのウクライナ侵攻。ドローン、AI等を使った新たな戦争現場の状況も伝えられるなか、プーチン大統領による核の使用の可能性の示唆など恫喝が依然続いています。凄惨な侵略が続いていることに怒りと悲しみで

言葉もありません。

10月29日、韓国ソウルの繁華街、梨泰院でハロウィーンで集まった多くの若者が圧死で亡くなるという大惨事がありました。多くの人が参加する種々イベントなどでも現実に起こりうることなのだ実感しました。事前の一層十分な警護対策が必須と思われると思います。

世界の政治では、中国の習近平国家主席の第3期体制が始動、英国首相に初のインド系のスナク首相が、イタリアの新首相には右派系といわれるメローニ首相が就任するなど、世界の動静に新しい展開もありました。加えて、米国では11月9日に中間選挙が行われました。共和、民主の接戦が伝えられていますが、米国会議が与野党対立で機能低下に陥り、日米欧などの結束やウクライナ支援などへ悪影響が出ないよう、選挙結果に関わらず米国が国際的な責務を果たしてゆくことを願っています。

来年は、早くも2023年です。地域完結型の病床再編の推進が必須の「2025年問題」がもうすぐそこに来ました。当院も担っている慢性期療養体制の一層の充実、地域包括ケア体制などを中心に一層改革してゆく必要があります。広島シーサイド病院もスタッフ一同「One Team」で、患者さん、ご家族、地域の皆様の為、引き続き一層頑張ります。

関係各位のご指導、ご鞭撻、何卒よろしくお祈り申し上げます。

敬老会

グループホーム元宇品では、お昼ご飯に仕出し弁当を注文し、敬老会の御祝をしました。

今年の敬老会は特別な送りものとして、ご家族に思い出の写真と直筆メッセージを用紙していただき、それを色紙に貼ってプレゼントしました。皆さんはご家族との写真や、昔の写真を懐かしくずっと見入っていらっしゃいました。歌を歌い、おやつの紅白まんじゅうを食べていただき、敬老会を終えました。グループホームは、新型コロナウイルス以前ではご家族の方を招待して一緒に食事会をしていましたが、残念ながら今年もご家族を招待することができませんでした。しかし、メッセージのプレゼントを大変喜んでいただけたので、本当に良かったです。



敬老会のお祝い膳

病棟、介護医療院、通所サービス、ショートステイの皆さんに喜んでもらうために、当院の栄養室が、長寿と健康を願う気持ちを込めた”祝い膳”を提供しました。

◎赤飯

日本では古くから赤い色には邪気を祓う力があると考えられており、加えてお米が高級な食べ物であったことから、神様に赤米を炊いて供える風習があったと考えられています。そこから災いを避ける、魔除けの意味でお祝いの席で振る舞われるようになりました。



冬に多発するウイルス性の食中毒!

○11～2月がピークに!ノロウイルスの食中毒

食中毒というと、夏場に多く発生する病原性大腸菌やサルモネラ菌などによる「細菌性食中毒」をイメージするかもしれませんが、冬場も夏場と同じように注意が必要です。

冬場に多く発生するものは「ウイルス性食中毒」です。代表的なものがノロウイルスで年間を通してみると食中毒にかかった患者数が最も多いのがノロウイルスによるものです。また、ノロウイルスによる食中毒はウイルス感染という特性から、発端は食中毒であったとしても感染する力が極めて強く、学校や病院等で発生した集団感染の大半は誰かがまずノロウイルスに感染し、ヒトからヒトへ感染して広がっていきます。大規模になりやすいので、発生した場合は適切な対処をして感染拡大を防ぐことが大切です。

○ウイルス性食中毒は、物を介して感染が広がる

ノロウイルスの主な原因食品は牡蠣、アサリ、シジミなどの二枚貝ですが、ウイルス性食中毒の感染は食品からだけでなく、ヒトや食器などからも経路して広がります。少量でもウイルスが体内に入ると腸内で増殖して、吐き気やおう吐、下痢、腹痛などを引き起こします。幼児や高齢者、病気治療中の人は、症状が重くなる場合もあります。

症状が出たら脱水症状を防ぐために十分な水分と栄養を補給しましょう。また、医療機関を受診する際は、感染拡大を防ぐために事前に電話を入れ、医療機関の指示に従って受診するようにしましょう。

○日常生活で気をつけるポイント

ノロウイルスから身を守るために、日常生活で次の点に注意しましょう。

- ★帰宅直後、調理の前後、食事の前、トイレの後などこまめに石けんを使って、指の間、爪の内側まで洗いましょう。
- ★魚介類を調理するときなど、「生食用」と表示のないものは十分に加熱しましょう。また、まな板やふきんなど台所の調理器具は水で薄めた家庭用塩素系漂白剤で消毒しましょう。
- ★体調不良になるとウイルスに対する抵抗力が低下するので、普段から適度な運動を行い、栄養や睡眠などを十分にとって体調を管理しましょう。



永年勤続表彰

広島県病院協会より10年の看護職員と勤続20年の介護他病院職員に永年勤続表彰が行われ、院長より賞状と記念品が贈られました。

常に自己研鑽を心がけ、知識、技術の向上に努め、患者様、ご家族の気持ちに寄り添うサービスを続けていきます。



コラム 「医療・介護の鳥瞰」 リハビリセンター長 松田 誠

2022年度版の厚生労働省白書の概要が7月27日に判明しました。それによると少子高齢化で医療・福祉分野の就業者数は、2040年に約1070万人が必要と見込まれる一方、現役世代の減少で、確保できるのは約974万人と推計されています。96万人足らなくなる計算で、安定的なサービス提供には、処遇改善やイノベーション(技術革新)が必要だと強調されています。

具体的には、医療現場で看護師や薬剤師らへのタスクシェア・シフトを進め、医師が専門的な業務に集中出来るよう働き方を改革することや、介護では、ロボットや情報通信技術 (ICT) の活用を掲げています。しかし、推計通り約100万人不足以上に医療・介護分野の人材確保は難しいのではないだろうかと思えます。ただでさえ医療機関の介護職の確保は難しく、求人しても人材が集まらないのが現実です。

今後も日本の総人口は減り続け、さらに生産労働者もそれ以上に減り続けます。そのような社会情勢で、人材確保の為に処遇改善と言っても、その財源確保が難しいです。診療報酬や介護報酬の点数アップで賄おうすると医療費や介護費が高くなり、それは社会保障費の増大につながります。また特定の職種の処遇改善は職種間格差につながり、国民の同意を得られるか疑問が付きまします。これらのことから考えても処遇改善するにしても警備なものになると考えられます。それ以外に、外国人労働者で人材確保していけばいいという意見もありますが、今後も日本が経済的優位性を継続できるかは不透明です。日本に比べ他のアジア圏は、人口増加傾向にあり国の発展性が高く、他のアジア圏の給与が高くなれば、日本の経済的優位性が低くなります。そうなれば人材は給与の高い国に流れ、外国人労働者は日本に来なくなります。

これらのことから考えて、反対に医療・介護職の人材確保は難しいという前提で考えれば、医療・介護分野を利用する人をいかに減らす事ができるかを考えなければならないかもしれません。予防や健康医学で病気になることや健康寿命を平均寿命に近づけることも重要になります。また人材確保が難しいならば、離職率を下げることも重要になります。特に介護職の離職原因として、職業病ともいわれる腰痛や腱鞘炎等の体調悪化によって離職するケースが多くあります。今の高齢者は小柄な方が多いですが、今後は大柄な高齢者が増えることが年代別調査でも明らかになっています。そうなれば介護職は、自分より大きな人、重たい人を介護しなくてはなりません。このことで、さらに体調悪化による離職のケースが多くなる可能性があります。そうならない為に早急にロボット開発を行い、現場に即したロボット活用をしなくてはなりません。

介護職の離職率を減らしながら人材確保しつつ、ロボット開発を進展させ、少ない人数で介護できるようなシステムを早急に構築する必要があると思えます。

脳 ① 若返り

□の中に文字を入れて言葉を完成させましょう。

→例題 □いご 答え **か**いご

問題① こ□□う

問題② □□ま□も

問題③ □ろ□いー□

問題④ □□し□

問題⑤ □ん□う□ん□ん

→答えは裏表紙(頁下部)

♥信頼される医療・福祉をめざして…

■基本理念

◎常に患者様とご家族の立場に立って行動し、医療・保健・福祉の分野で連携充実を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張ります。

外来案内のご案内 休診日/土・日曜日、祝祭日、盆、年末年始

●内科・リハビリテーション科・放射線科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:30 13:00~16:00	荒巻	上杉	池田 沖田	山本	上松瀬 日域

●脳神経内科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:30	湯川	湯川		湯川	

医療法人 和同会

広島シーサイド病院

診療科目/内科・脳神経内科・リハビリテーション科・放射線科

医療療養病床183床・介護医療院147名(定員)

〒734-0012 広島市南区元宇品町26-20

TEL (082) 255-1010 FAX (082) 255-6826

<http://www.ss.wadoukai.jp>

- 広島シーサイド病院 介護医療院 TEL (082) 255-1010
- 通所リハビリテーション TEL (082) 252-2781
- 訪問看護ステーション ハローナースシーサイド TEL (082) 255-1424
- ショートステイ元宇品 TEL (082) 255-1221
- グループホーム元宇品 TEL (082) 255-1239
- 元宇品居宅介護支援事業所 TEL (082) 255-1422

■基本方針

◎信頼され、安全性の高い医療サービスを目指すため、職員の研鑽と協調に努めます。

◎患者様、ご家族、職員がお互いに尊重し合い、ともに喜び、生きがいもてるようチーム医療を推進します。

◎地域に根ざした、住民とともに歩む病院を目指します。

◎病院の質を高め、健全経営に努めます。

◎職業を通して、社会人としての豊富な人間性を養います。

●ごあんない



- バス/広島バス21号線(宇品線)シーサイド病院入口バス停より徒歩5分
- 電車/広島電鉄宇品線元宇品電停より徒歩10分
- タクシー/広島駅より元宇品方面へ約30分

【脳の若返り】答え ①こうよう ②さつまいも ③はろういーん ④どくしょ ⑤けんこうしんだん

編集後記

サッカーワールドカップ、カタール大会で日本中が大いに盛り上がっております。ドイツ、コスタリカ、スペインという強豪国と同じグループに入り、戦前の予想ではグループ突破は難しいのではないかとこのものが多くありましたが、蓋を開けてみれば、ドイツ・スペインに勝利しグループを1位で突破しました。これから始まる決勝リーグがどうなるかとも楽しみですが、紙面が皆さんのお手元に届くころには結果が出ているのではないかと思います。

さて、あまり身近ではないカタールとはどんな国かご存知でしょうか?カタールは、アラビア半島から突き出したペルシャ湾の南岸にある半島です。面積は、秋田県よりやや狭く、国土の大部分は平坦な砂地です。人口は約245万人で、カタール人が約30万人のみ。一人当たり国民所得は世界トップレベルで、国民の医療や教育は無償です。豊かな国家財政を背景にして、南アジア諸国等からの外国人労働者が集まり、人口の9割を占めるようになっていきます。近年は、高級リゾート開発や、国際会議、サッカーワールドカップ開催など、国の存在を世界に示すことにも積極的に取り組んでいる国です。世界のいろいろな国が集まる大会なので、これを機会にどんな国が参加しているのか調べてみるのも楽しいですね。(2022年12月1日記) (編集N)